

# 日本学術会議 公開シンポジウム

## 科学的知見の創出に資する可視化 (5) : ICT / ビッグデータ時代の 文理融合研究を支援する可視化

**日時** 令和2年 12月 12日 (土) 13:00 ~ 16:30

**会場** オンライン開催 配信拠点：立命館大学びわこ・くさつキャンパス  
(〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1)

**申し込み方法** Google フォームからのお申し込み：  
(URLとQRコード挿入予定)

**主催** 日本学術会議 総合工学委員会 科学的知見の創出に資する可視化分科会

**共催** 可視化情報学会, 日本シミュレーション学会, 画像電子学会, 芸術科学会, 画像情報教育振興協会 (CG-ARTS),  
情報処理学会コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究会,

**後援** 人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2020」

近年、理系・文社系を問わず、いわゆるビッグデータを基礎データとして、ICT環境を用いて研究が行なわれるようになってきた。今期に開催した計4回の同名シンポジウムに引き続き行なわれる本シンポジウムでは、理系・文系の両方のアプローチで研究が行なわれている複数のテーマを選び、それぞれのテーマで理系・文系の両方から第一線の研究者あるいは専門家を招いて講演を行う。これらの講演を踏まえて参加者とともに深い議論を行ない、文理の垣根を越えた、可視化を中核とする新しい文理融合研究の可能性を探りたい。

### プログラム

13:00 開会挨拶 小山田 耕二 (日本学術会議第三部会員, 京都大学学術情報メディアセンター 教授)

13:05 趣旨説明 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学情報理工学部 教授)

#### 13:15 第1部 3次元計測と可視化

司会 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学情報理工学部 教授)

「ICTを用いた文化財のデジタル記録」 山口 欧志 (奈良文化財研究所 研究員)

「AIと文化財の可視化」 李 亮 (立命館大学情報理工学部 准教授)

#### 14:05 第2部 テキストマイニングと可視化

司会 小山田 耕二 (日本学術会議第三部会員, 京都大学学術情報メディアセンター 教授)

「社会調査におけるテキスト可視化の利用とソフト」 樋口 耕一 (立命館大学産業社会学部 准教授)

「(タイトル未定)」 美馬 秀樹 (東京大学大学院工学系研究科 准教授)

14:55 (休憩)

#### 15:00 第3部 マンガ/アニメと可視化

司会 藤代 一成 (日本学術会議連携会員, 慶應義塾大学理工学部 教授)

「(タイトル未定)」 小沢 高広 (漫画家「うめ」)

「(タイトル未定)」 山西 良典 (関西大学総合情報学部 准教授)

#### 15:10 パネル討論 「ICT / ビッグデータ時代の文理融合研究を探る」

ファシリテータ 田中 覚 (日本学術会議連携会員, 立命館大学情報理工学部 教授)

討論者 講演者・司会者・分科会・小委員会※選抜メンバー

※ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会, 可視化の新パラダイム策定小委員会

16:25 閉会挨拶 萩原 一郎 (日本学術会議連携会員, 明治大学研究・知財戦略機構 特任教教授)

### お問い合わせ先

立命館大学情報理工学部 田中覚 (stanaka[at]is.ritsume.ac.jp)

慶應義塾大学理工学部 藤代一成 (ifujishiro[at]keio.jp)

※ [at] は @ に置き換えて下さい